



いしかわ労福協

第 525 号 2011年10月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田 弘志
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

2011年度の労働者福祉の向上を目指し、 自治体要請行動がスタート



県・加賀地区自治体担当者懇談会

労福協は、来年度における各自治体の予算編成に向けた実質的な要請行動をスタートした。9月27日(火)には県市長会及び県町長会の事務局に事前説明を行ったことに続き、10月4日(火)には県議会議員団懇談会と金沢市・野々市町・内灘町の各市町議員団懇談会、そして、同月11日(月)からの各自治体担当者との説明会、能登・加賀地区市町議員団懇談会を開催した。

例年、県内各自治体の来年度予算編成に向けて、労働者をはじめとする県民・市民の福祉、生活の向上に向けた政策制度などの要請事項を書面にして、実現を求める活動を行っているもので、関係者への事前説明の後、各自治体の首長に要請をしてきているものです。



能登地区自治体担当者懇談会

今回は、労福協が進める子育て支援事業に対する協力要請や、厳しい雇用環境下で悩む労働者への相談体制の強化、食の安全に向けた情報開示や消費者教育の強化などを中心に労働者のみならず県民市民の福祉・生活に必要な事項であり、実現が切に望まれるものです。懇談会では、毎年、自治体は予算が圧縮される財政事情から、要請事項の実現には厳しさが伺えたが、要請内容については一定の理解が得られたと思われた。

この後、24日(月)から、内灘町を最初に県内各自治体への要請が予定されており、11月10日の金沢市長、石川県知事への要請で全自治体に対する要請行動が終わる予定。



県議会議員団との懇談会



金沢・野々市・内灘の議員団
との懇談会



能登地区議員団との懇談会



加賀地区議員団との懇談会

地区労働会館の公益法人移行懇談会



能登地区労働会館代表者ら

懇談会を開催した。

公益法人法の改正に伴い、財団法人として運営・活動してきた各会館は、その対応が急がれ、それぞれの会館の取組状況や疑問などについて、広く意見交換をした。

労福協が、法改正による移行申請は、2013年11月末の期限であることや、移行申請までに必要な作業について、改めて説明した後、「一般財団法人への移行を目論んでいるが、公益事業を定めても、財政的な面から十分な公益目的財産の費消ができず計画実施期間が長くなりそうだ。」などの意見や取組みにおける苦労話もあるほか、未だかつて移行の方向すら決めかねている会館など、苦労している現状が明らかとなった。

今後も同様な会館を運営するには、法改正に伴う対応は必須であり、タイムリミットが迫っていることを再認識して懇談を終えた。

労福協は、10月19日(水)七尾鹿島労働福祉会館において、能登地区の4労働会館と公益法人移行について

海外支援米を収穫

食とみどり水を守る石川ネットワークは、9月24日(土)の秋晴れの日に、アジア・アフリカ飢餓支援米作付



稲刈りに精を出す子どもたち

け田において、稲の刈取りを行った。

当日は、稲刈り体験親子ら約70名が参加し、たわわに実った稲穂で倒れるほどの稲を一株ずつ丁寧に刈り取った。

この稲は、今年の5月に親子らで田植えされたもので、その後、刈り取りに至るまでの間、田んぼの提供者が丁寧に管理されてきた。田んぼ提供者からは、「天候にも恵まれ上々の仕上がりのなった。」とコメントされたばかりあり、穂をつけた稲は重く実っていた。

参加した子どもらは、おぼつかない手つきで株を掴み鎌で刈り取っては、ひとまとめにしつつ、作業を完了し、ひと汗かいた後、スタッフが用意した焼きそば、おにぎり、豚汁、ポップコーンを頬張り、収穫の苦労と喜びを感じたようだった。

当日刈り取った稲は、即、コンバインで脱穀し、その後の行程を経て支援米とされ、食料難に苦しむアジア・アフリカの国の人々に参加者の熱意と共に贈られる。

これからの行事予定

(10月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
10月 28日	金	連合石川第23回定期大会	労済会館
29日	土	子育て支援メッセ	産業展示館3号館
31日	月	自治体要請行動 加賀地区自治体首長要請	野々市、白山、川北、能美、小松、加賀
11月 1日	火	金沢LSC バス旅行「正倉院展」	奈良県
〃	〃	2011年度中間会計監査	フレンドパーク石川
4日	金	大衆運動活動家顕彰会事務局会議	
7日	月	石川労福協第4回理事会	フレンドパーク石川
8日	火	北陸労金と3県連合・労福協連絡会議(～9日)	富山越中庄川荘
10日	木	自治体要請 金沢市長要請	金沢市役所
〃	〃	自治体要請 石川県知事要請	石川県庁
〃	〃	職業紹介研修会	駅西合同庁舎
11日	金	消費者大会	金沢文化ホール
12日	土	勤美展 作品受付(～13日)	勤労者プラザ
16日	水	第61回勤労者美術展(～20日)	勤労者プラザ
20日	日	勤美展 表彰式	勤プラ
21日	月	アドバイザー会議	フレンドパーク石川
22日	火	消団連主催「HACCP セミナー&工場見学」	フレンドパーク、佃食品工場
23日	水	第11回大衆運動活動家合祀追悼会 追悼会・感謝の集い	卯辰山、フレンドパーク石川
25日	金	中央労福協 第60回定期総会	総評会館
26日	土	労福協・婚活パーティ	金沢国際ホテル
29日	火	勤文協 勤美展県庁展	石川県庁19階
12月 8日	木	食とみどり水を守るいしかわネットワーク 総会	フレンドパーク石川

グラウンド・ゴルフ中央大会を開催



開会の挨拶をする嶋垣副理事長（右端）のほか右から長岡氏、宮下氏、鈴木氏、杉森氏

県ライフ・サポートセンターは、10月7日（金）金沢市民芸術村の「大和町広場」において、第9回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会を開催した。

大会には、県内各地域ライフ・サポートセンターでの予選を勝ち抜いてきた選手240名と県障害者スポーツ協会からの招待選手30名、合計270名が参加して行われた。開会にあたり、嶋垣利春石川労福協副理事長、長岡次郎ろうきん友の会代表、杉森重廣県障害者スポーツ協会副会長から、それぞれ開会の挨拶と始球式の後、鈴木正美全労済石川県本部専務執行役員によるホイッスルで一斉にプレーをスタートした。

絶好のコンディションの中で行われた大会は、健常者と障害者らとともに緊張感の漂う中で真剣な競技をする一方、和やかに談笑して触れ合う中で順調に故障者を出すこともなく、全員が競技を終えた。

表彰式では、嶋垣利春北陸労金石川県本部長と中村栄一全労済石川県本部長がプレゼンターとなり、団体戦上位5位までと個人戦の上位者

が、各々表彰された。

最後に宮下亮石川労福協専務理事より閉会の挨拶がされた後、表彰されなかった選手を対象にしたお楽しみ抽選会が行われ、大会を終了した。

<団体戦>

優勝：羽咋 LSC - A 353 点、準優勝：河北 LSC - A 364 点、3 位：七鹿 LSC - D 366 点、4 位：白山野々市 LSC - B 374 点、5 位：小松能美 LSC 379 点

<個人戦>

=男子= 優勝：柳森紀男（羽咋）、準優勝：塩谷進（羽咋）、3 位：中田清（河北）、4 位：竹村正次（小松能美）、5 位：山下源左衛門（白山野々市）、6 位：内潟利夫（河北）、7 位：梅田義之（河北）、8 位：西昇（河北）、9 位：中村芳雄（羽咋）、10 位：南昭治（七鹿）

=女子= 優勝：小酒千鶴子（加賀）、準優勝：谷口外喜子（小松能美）、3 位：沢野靖子（七鹿）、4 位：岩本千代子（七鹿）、5 位：正木美重子（招待）



慎重にホールを狙う競技者



スイーツバイキング & ランチパーティー



ろうふく ネット



日 時：平成23年11月26日（土） 10:30～14:00
場 所：金沢国際ホテル（金沢市大額町）
参 加 費：男性2,000円 女性1,000円
対 象：30代の働く独身男女（石川県在住の方）

定 員：男女各25名（応募者多数の場合、抽選）
申 込 み：ホームページまたは、電話にて
お申し込みください。
申込締切：平成23年11月14日（月）

（社）石川県労働者福祉協議会
〒920-0024 金沢市西念 3-3-5 3F TEL:076-264-4699
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp/musubi/>



北陸ろうきん「創立10周年」を祝う！



中央記念式典での
草嶋北陸労金理事長

北陸労働金庫は、10月1日に創立10周年を迎え、これまでのご愛顧に感謝して10月5日(水)に中央記念式典と祝賀会をANAクラウンプラザホテル金沢で

開催した。

中央記念式典・祝賀会では、主催者を代表して北陸労働金庫草嶋安治理事長が「これまで10年間にわたり、会員をはじめご利用いただいた多くの方々に対し感謝を申し上げる。諸先輩方が築き育ててきた労金の財産を北陸労金の新たな世代に引き継いでいくとともに、はたらく人の福祉が何より大切であり、会員・労働組合との絆をさらに深め、生活応援運動を柱に生活総合福祉金融機関としてこれからもその役割を果たしていく。」と挨拶した。続いて、北村信男財務省北陸財務局理財部長をはじめとした来賓が祝辞を述べた。祝賀会には、総勢205名が参集し、アトラクションとして「炎太鼓」の華麗な太鼓が



永源実行委員長

披露されるなど盛大に行われた。また、10月17日(月)の石川地区の「記念式典並びに感謝のつどい石川」の第1部記念式典では、主催者を代表して永源浩治実行委員長と草嶋理事長が挨拶した後、労金運動に貢献された石川地区内の45会員に対し特別表彰が行われ、感謝状と記念品が贈呈された。

引続きの記念公演は、石川県白山市出身の歌手「山本あき」さんによる歌謡ステージが行われ、哀愁ただよう美しい歌声が式典に華を添えた。

第2部感謝のつどいは、会員への感謝を表して総勢240名が招かれ、オープニングに勇ましく迫力ある宇出津「弥栄太鼓(イヤサカ)」が打ち鳴らされ嶋垣利春北陸労働金庫石川県本部長に



会員特別表彰される会員

よる主催者代表の挨拶と乾杯で始まった。会場は、お楽しみ大抽選会が行われるなど終始大いに盛り上がった。



山本あきさん

最後に石黒茂樹副実行委員長による「北陸労金の発展を祈念した万歳三唱」にて締めくくられ、10周年行事を終える一方、20周年に向けてスタートした。



感謝の弁を述べる嶋垣石川県本部長



勇ましく迫力の弥栄太鼓

ろうきんフェスタ 2011 を盛大に催す

金沢地域ライフ・サポートセンターは、10月1日(土)に北陸労働金庫の金沢市内3店舗との地域行事として「ありがとう10周年 ろうきんフェスタ2011」を金沢市袋島町の石川県産業展示館2号館にて開催した。

この催しは北陸労働金庫の利用者(連合石川の組合員やろうきん友の会会員、石川県勤労者互助会会員など)の感謝祭として今回で6回目を数えるもので、今回は北陸ろうきん創立10周年を記念するイベントとしてバージョンアップして取り組まれた。

午前10時から会場入口で金沢市従組の威勢の良



兼六太鼓



ステージで繰り広げられる
パフォーマンス

い兼六太鼓でオープニングし、わんこそば早食い競争やおなじみのよさこい「うちなだ愉快的仲間たち」のパフォーマンスでさらに盛り上がり、11時から会場内のお客様全員が参加するジャンケンゲームでまたまた歓

声沸き、腕自慢、のど自慢による手品、ジャズバンドなど盛り沢山のメニューが披露され、ろうきん利用者参加型のお祭りとなった。

受付コーナーでは、人気の石油ストーブなどが90名に当たる抽選会や労金キャッシュカード利用者に対し高級ローションティッシュなどが提供され、さらに今回は超豪華賞品が当たる大抽選会が行われ、当選者は思わずにっこり微笑む光景などが見られた。

当日は好天に恵まれ、約1,200名の来場者がある中、物販コーナーでは、連合かなざわ役員が売り子となり、カップラーメンや玉子、砂糖、キャノーラ油などの食料品や洗剤、トイレトペーパーなどの生活用品が格安販売された。さらに、人気のバナナの叩き売りでは、今年も金沢地域LSC綿征一会長が自ら「ねじり鉢巻」で販売先頭に立っ



物販コーナー

た。

ー昨年からの実施の「マグロ解体ショー」は、昼食時に開催され、大口水産の社員による見事な包丁さばき(刀?)が披露され、75キロの本マグロはアツという間に完売となった。



まぐろ解体

ちびっ子ゾーンでは、ちびっ子スタンプラリーでスタンプ集めに走り回る親子や恒例のおもしろ自転車やドームプール、縁日コーナーに人気が集まり、子供達の元気の良い歓声が沸き上がった。



ちびっ子ゾーン

また、金沢地域LSC文化部会が「チャリティふれ



ふれあい書画展での合評

あい書画展」を同時開催し、143点の子どもらの作品が展示され、多くの来場者が鑑賞した。午後2時からの合評や表彰式には、出品者親子やその家族が多く見られた。



大抽選会

北陸ろうきん10周年を記念して行われた「大抽選会」は、ステージ上で綿会長による厳正なる抽選が行われ、iPadやお掃除ロボット「ルンバ」、32型液晶テレビなど豪華賞品が、入江のA氏など18名の当選者に贈られ、今後のろうきん利用を大きくアピールした。

今回は、開催時間を1時間短縮(10時から15時)したり、大抽選会を14時に実施したことで、会場内の賑わいは途絶えることなく、また各コーナーでのお客様の滞留時間が長くなるほか、課題であったステージ周辺における関心度に高まりが見られた。

なお、ちびっ子ゾーン・縁日コーナーでの売上金全額(¥32,400)は、後日、金沢市内のNPO施設パッチワークへ寄贈する予定です。

金沢LSC 事務局長 谷内英明

金 沢 L S C

いも掘り大会



キズが付かないように芋を掘り出す子ども

金沢地域ライフ・サポートセンターは、ろうふくきょう子育てネット事業の一環行事として「いも掘り大会」を10月8日(土)に金沢市粟崎で開催した。

いも掘り大会には、事前に申し込まれた親子連れ230名が参加し、綿征一会長が「子育てのために、是非、各地域のファミリーサポートセンターを利用いただきたい。労福協は、ファミリーサポートセンターの利用料金の補助制度や今日のような催しを子育て支援事業として行っている。今日は、いも掘りを通じて、親子の触

れ合いや絆を更に深められたい。」と挨拶した後、参加者全員が畑に移動し、この行事のために丹精込めて育ててくれた地主の忠村さんから、芋の掘り方を教わり、大きく育った五郎島金時芋を親子で楽しく掘り収穫した。

普段、土に触れる子どもが少なくなっており、恐る恐る芋を掘る姿も見られたが、土の中から顔を出した芋を見た瞬間に目を輝かせて、芋を掘り出そうと俄然力が入る子どもがいるなど、準備された約600株の芋は、瞬く間に掘り起された。

芋掘りの後には、スタッフが準備した五郎島金時の入ったメッタ汁などで昼食を摂ったほか、参加者が持ち寄ったオモチャの交換会もあり、収穫した五郎島金時芋をお土産に芋掘り大会を終了した。

なお、宮下亮労福協専務理事から、今年6月からスタートした「ろうふくきょう子育てネット」の事業を紹介し、参加者にチラシを配布して加入を呼びかけた。

勤 体 協

第45回県勤労者秋季ソフトボール県決勝大会(10月2日・金沢市営専光寺ソフトボール場)
①安原クラブ②輪島市壮年③FJ日、志賀電サービス

県勤労者体協の秋季勤労者団体登山10月8日から1泊2日の日程で福島県の安達太良山(標高1700メートル)と西吾妻山(同2035メートル)で行われ、32人が名峰からの眺望を満喫した。

第45回県勤労者秋季体育大会弓道大会(10月16日・小松市桜木体育館)
◇団体 ①中村留精密工業②北国弓友会③金沢村田製作所
◇個人▽男子 ①中西鉄也(美川弦友会)②北市誠(中村留精密工業)③足立昭雄(金沢村田製作所)
▽女子 ①宮岸真佐子(小松市(智))②杉村雅子(大同工業)③長井厚子(能美市B)

第45回県勤労者秋季体育大会第14回勤労者秋季グラウンドゴルフかほく大会(10月23日・同市高松グラウンドゴルフ場)
▽男子 ①内灘サンダース②ヒロシ&フレンズ③赤とんぼ▽女子 ①今も姉ちゃん(かほく)②志賀バーディ会花組③三二会レディース(かほく)

県勤労者体協第13回サイアーランニング大会(10月23日・金沢市の犀川河川敷)同市玉鉾2丁目の若宮大橋下を発着点に10、80代の約230人が自己記録の更新へ健脚を競った。
ランニングは5キロ、10キロ、20キロ、30キロの4部門。

随時会員
募集中!

労福協・子育て支援ネットワーク

(愛称：ろうふくきょう・子育てネット)

ファミリーサポートセンター利用料金補助制度

■利用できる方

石川県内のファミリーサポートセンターに依頼会員(おねがい会員、援助依頼会員、利用会員を含む)として登録されている方で、

A. 共働き世帯の方 B. 働くひとり親世帯の方

■補助の内容

A 共働き世帯の方	病(後)児預かり利用料金の 半額を補助 します。
B 働くひとり親世帯の方	預かり全般の利用料金の 半額を補助 します。

労福協・子育て支援ネットワーク

(社)石川県労働者福祉協議会

〒920-0024 金沢市西念3-3-5 <http://www.ishikawa-rofukukyo.jp/kosodate/>

お申込・お問い合わせは ☎ 076-264-4699 まで

